

< 9月事務例会議事録 >

書記 杉本隆人

- 日時：2018年9月6日(木)
19:00～20:45
- 場所：西神戸YMCA
- 出席者：左伯、杉本、館、
達、田辺、丹家、中村、
野呂、藤井(信)、藤井(久)



1. 報告事項

- (1) 西日本区報&メネット報 配布
- (2) 瀬戸山陰部編入検討委員会 杉本、中村
8/18(土) 13:00～17:00 神戸YMCA
- (3) チャリラン協賛委員会 田辺 8/27(月)
19:00～ 神戸YMCA
- (4) EMC事業委員会 杉本 8/28(火)18:30～
神戸YMCA
- (5) 次期メネット主査 学園都市クラブ担当
輪番制で今期の会長・田辺氏担当

2. 協議事項

- (1) 副会長、2019-20会長の件は、次期会長候補者
として杉本を選出した。
- (2) 西日本豪雨災害募金(9/10 済)
支援金の支出方式として1つ災害募金に対して、
会員1人当たり1,000円を募金することに決定し
た。今回は、14名で14,000円募金する。
- (3) EMC 8月集計(省略)
- (4) 9月例会:20日(木)卓話 山本智子(いつく
んのママ)(公開例会) driver 杉本
- (5) 第二回検討委員会 資料配布し、クラブとして
意見交換をした。参加 中村、杉本
- (6) 25周年記念例会 日時は、3月16日(土)
実行委員長:杉本氏
規模:100名前後
場所:西神オリエンタルホテル
内容:フルーツ演奏会、演奏 河合久美子(京都
ウエストクラブ)、吉田由美(大阪なかのしま
クラブ)ほか、講演、記念行事、懇親会は、随
時決定していく。

(7) フェンド事業経過報告

- ①黒にんにく:8月末に入荷し、すでにYMCA
窓口にて販売開始しております。
シール対応するのが遅れておりますが、出来る
だけ早く対応していく予定です。
- ②もちつき:今回より入江幼稚園からの道具借入

をやめて独自に準備する方針で、早急に道具を
購入することに全員賛成し、進めていく。

- ③じゃがいも:100箱を実施すべく準備中。北海
道は地震の影響で相場が高い。10月10日前後
までに相場と比較しながら決定。販売日10月
20日～、仮置き場は、丹家クリニックの倉庫を
利用させていただき許可を得た。

(8) DBC交流会:11月24～25日

場所:余島活動センター

配車は、2台、8～10名で行く予定とした。

- ・福井での懇親会は来年4月で計画を進める。

(9) 今後の例会予定:(年間計画表参照)

- ・10月20日(土)ワイワイまつり
- ・11月3日(土)チャリティラン
- ・11月8日(木)公開例会 卓話
関 啓子(三鷹高次脳機能障害研究所所長)
「伝えたい、脳卒中とその後遺症」(公開例会)
- ・12月15日(土)クリスマス会開催の予定
- ・1月 新年例会 日時、場所は、未定
- ・2月 21日(木)アングラーコントロール(公開
例会)?
- ・4月 老年医学の予定からさんだクラブでやっ
た演奏者を招へいし、公開例会にする

3. その他

- ・わいわいまつりの案内
- ・留学生への冬対策寄贈品の募集
- ・日本YMCA大会の案内

4. 今後の西日本区・六甲部行事予定(年間計画表参 照)

- ◎ 京都部会 9/9(日) グランドプリンスH京都
¥10,000
- ◎ 中西部会 9/16(日) 12:00～
Hモントレ・グラスミア大阪 ¥10,000
- ◎ 阪和部会 9/17(月・祝) 12:00～
たかつガーデン ¥7,000
- ◎ 六甲部会 9/22(土) 12:30～19:00
神戸YMCA ¥8,000
- ◎ 西中国部 9/29(土)
白龍湖(東広島市) ¥8,000
- ◎ 中部会 10/6(土) 12:30～
アイリス愛知 ¥10,000
- ◎ 瀬戸山陰部会 10/7(日) 15:00～
夢乃井 ¥15,000
- ◎ びわこ部会 11/4(日) 10:00～15:00
草津市立まちづくりセンター ¥8,000

コメントの追加 [田辺征一]:

◎ 大阪クラブ 90 周年記念例会 11/10(土)
大阪 YMCA ¥6,000

「フランス・ルルドからピレネー山脈を越えてサン チャゴ・デ・コンボステラへ 2 大聖地を訪ねて 10 日間」(第 2 回)

丹家元陽 ワイズ

7 月 17 日(月)



朝食を早く済まし出発までの時間に、もう一度聖堂前の広場に行く。丁度日の出の光が聖堂正面に当り、黄金色に輝く素晴らしい光景。そして聖堂内も朝日が差し込み神々しい姿。そしてバスは左手に雪を戴くピレネー山脈を見ながら西へ約 160Km、約 2 時間。Saint-Jean-de-Luz (サン・ジャン・ド・リュズ) へ。このあたりからフランス領ながらバスと呼ばれる大西洋に面した漁師町である。漁港と広い砂浜にはバカンスで来て海水浴を楽しむ人々が。

サン・ジャン・バプティスト教会着。この教会はルイ 14 世がマリー・テレーズと結婚式を挙げた事で有名。そして昼食。地元のビールが喉に心地いい。前菜は「ピキョ」。赤いパプリカの中にミンチ肉とナスペーストを入れ煮込み、ピリッと感のあるパプリカソースで頂く。絶品！メインは「アシユア」。こま切れ牛肉をグリーンペーパー、トマト、オニオンで煮込んだ感じでライス添えに赤ワインがグイグイ進む。これは危険。デザートはアップルパイにアイスクリーム、そしてコーヒーで大満足！

バスは西へ 35 Km、約 1 時間。いつ国境を越えたのか解らないうちにカンタブリアの真珠といわれるスペイン、San Sebastian へ。まずは標高約 200m 位のモンテ・イゲルド展望台へ。遊園地やレストランがあり、ここから見下ろすコルチャ湾と、そのむこうに広がるサン・セバスティアンの街並みが実に美しい。海の青、空の青、そして砂浜の白、街のオレンジのコントラストが素晴らしい。そしてミラマール宮殿の周辺を散策後ホテルへ。

ウルメア川沿いに立つこのホテル・マリア・クリスティーナは王妃マリア・クリスティーナの命により 1912 年に開業した 5 つ星で 9 月に開かれるサン・セバスティアン国際映画祭では玄関にレッドカーペットが敷かれるとの事。今まで泊まった事のあるホテルの中でも最上級クラス。ベランダからホテルの壁を見てスペインの悲しい歴史を見た。壁にはスペイン内戦の時の弾丸の跡が無数にあり、そのまま残っている。そして今夜のバル巡りの下見も兼ねての市内散策へ。市庁舎、サンタ・マリア教会、市場とかを

ぐるっと回る。旧市街は基盤の目状なので解り易い。なぜ、ここが美食の街になったのか。元々これといった観光の目玉がなくコンチャ湾の広い砂浜があり夏には海水浴客でにぎわうが、他のシーズンはさっぱり。そこで 1970 年頃から地元の料理人達がお互いのレシピを教え合ったり、競争したりして料理の腕を磨き上げた結果だとの事。いわゆる街起こしの原点をここに見た。そして今スペインの 3 つ星レストラン 7 つのうち、3 つがここサン・セバスティアンにあるという。

PM7:30 いざホテルを出発。ここはフォアグラが有名、ここは生ハム、ここはホタテ、との情報があるが数 100 軒の中から、さてどこに入るかの決断が難しい。エイッと入ったバルのカウンターには数十種類の Pintxos (ピンチョス) がズラリ。薄く切ったバゲットの上に、生ハム、エビ、カニ、ツナマヨ、オイルサーディン、サーモン、ゆで卵のマヨネーズ和え…。あれも食べたい、これも食べたい。どれも本当に涎が出そうなるのをピンチョス 5 品とビール 1 杯に我慢して二軒目へ。

ここはエビが有名との事。注文すると目の前の鉄板で焼いてくれる。中指大のエビが 4 尾、串に刺してありプリンプリンの食感とエビの甘みがロー杯に広がり、冷えた白ワインが喉に染み渡る。そしてこれも親指大のシシトウの素揚げにバラバラと振った絶妙の塩加減が絶品。これからはホテルの朝食にあれば必ず食する事となる。3 軒目はタコのマリネが有名で、ここでも又冷えた白ワインが喉の奥へすべり込む。満足！満足！そしてホテルに帰る途中、まだ明るい。ホテル前のウルメア川の河口近くまで散歩。大勢の人達が集っている。大西洋に沈む夕日が美しい。日没 PM9:45。

7 月 18 日(火)

朝食のレストランには、なんとシャンパンが。これから毎朝の朝食時のシャンパン、つまり「朝シャン」が習慣となる。今朝はバスで 2 時間。Pamplona へ。ここパンプローナは標高約 450m、10 世紀から 16 世紀にかけて栄えたナバーラ王国の首都。ヘミングウェイの「日はまた昇る」に描かれた 7 月上旬に開かれるスペイン三大祭りの一つ「牛追い祭り」で有名。今年は 7 月 6 日～14 日でカスティーリョ広場では後片付けの最中。この広場に面したカフェでのティータイム。今もバーのカウンターにはヘミングウェイが肩肘をついて立っておられる。「牛追い祭り」。正式にはサン・フェルミン祭と言われ、毎朝 8:00 から、その日の闘牛に出る牛 6 頭を、市庁舎前の広場から闘牛場まで約 800m の街中を走らせる。そして途中にある石

畳の急カーブが一番の見所。つまり牛と人もその勢いで滑って転ぶ一番危険な場所となる。その牛達の前を白いシャツに白いズボン、腰に赤いスカーフを巻いた肝試しの若者が走って、その勇気を競い合う。巾7～8mの道の要所要所には頑丈な柵が設けられているとはいえ体重数100kgの巨体が全速力で走る、約10分程のセレモニーであるが当然ケガ人も出るので、結婚すると奥さんから禁止されるとの事。その後サン・フェルミンの行列が街中を練り歩く。会期中は100万人もの人々が集まる。

次にバスは日本にキリスト教を伝えたカトリックの宣教師フランシスコ・ザビエルの生地ハビエル城へ。なだらかな岩山が連なり、人家もまばらな所に忽然と出現し、いかにも中世の城といった感じ。この近くのレストランで昼食。乾燥地なので生ビールがスーッと入る。前菜はハウレンソウとエビのパイ包み。かなり大きいのが2個。クリーミーでおいしいけれど1個で十分楽しめる。メインは、イベリコ豚のサーロインステーキ、ポテトフライ添え。デザートにはゴシュア(甘いという意味)。カスタードクリームのレストラン風。そんなに甘くなかったが量が多く降参。

次に向かった所は、今日一番楽しみにしているリオハ州の州都ログローニョへ。ここリオハはラマンチャ地方に

次いで、スペインで2番目のワインの産地。周り一面ブドウ畑。その中のオタノワインナリーの見学とテストイング。標高約500mで赤ワインが9割。白、レゼルバの赤、デザート用の白ワインを普通のテストイングよりたっぷり入れてくれる。つまみの赤パプリカのピクルス、チーズ、オリーブパンで一気にテンションが上がる。ここでグランレゼルバ(最上級の赤ワインで、オーク樽で2年、ビンで3年以上熟成)、レゼルバ(上級)、並、3本セット45€はお買い得。今、我家のワインセラーにその時を待って眠っている。

サン・セバスティアンに戻り、今夜の夕食はPM8:30からミシュラン一つ星レストラン「ココチャ」で。スイカとトマトのガスパッチョ、小エビとホタテのソテー、ブタ皮のカリカリ揚げ、ソフトクラブの空揚げ、スズキのムニエル、ステーキ etc.日本の昆布出汁を使ったりとかの工夫で美味。さらにビールとリオハワインがその味を引き立ててくれたのは言うまでもない。PM11:30 ホテル着。

< 今月の詩 >

たとい、死の影の谷を歩くことがあっても、
私はわざわざを恐れませんが、
あなたが私とともにおられますから、
あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。
私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、
私の頭に油を注いでくださいます。
私の杯は、あふれています。
まことに、私のいのちの日の限り、
いつくしみと恵みとが、私を追ってくるでしょう。
私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。

ダビデ (在位 BC1000-961 頃)

聖書の詩篇で最も愛される23篇は「ダビデの賛歌」とも言われ、羊を導く良い羊飼いとての神が詠われている。ダビデは古代イスラエルの二代目の王。羊飼いで身を起こした人物で、堅琴を巧みに弾き、眉目秀麗で智慧に富み、勇敢な戦士だったと伝えられる。信仰深く神に愛されたが、その生涯は試練の連続で波乱に富んでいた。

～「ポケットのなかの祈り」いのちのことば社フォレストブックスより～